

【参考資料】（ひきこもり支援）支援の基本的な考え方・取組み一覧（東京都と足立区（案）の比較）

東京都（ひきこもり支援ガイドブック）		
ひきこもりに係る支援の基本的考え方（支援にあたって持つべき視点）		
視点1	都民及び関係者への普及啓発・効果的な情報発信	
1-1	誰一人取り残さないSDGsの理念に基づく支援を浸透させる（社会全体）	
1-2	偏見や差別的対応を排除し、当事者や家族の孤立を防ぐ（社会全体）	
1-3	ひきこもりへの正しい理解を浸透させる（当事者・家族）	
視点2	一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細かな支援	
2-1	当事者一人ひとりの尊厳を守る	【区考え方1にリンク】
2-2	地域の理解者や協力者を広げる	【区考え方3にリンク】
2-3	「当事者本位」の視点を徹底する	【区考え方1にリンク】
2-4	家族支援	【区考え方2にリンク】
2-5	当事者の多様性に合わせ、寄添う	【区考え方1にリンク】
視点3	切れ目のない支援体制の整備	
3-1	地域におけるネットワーク構築	【区考え方3にリンク】

ひきこもりに係る支援の方向性（3つの支援を基本に目指すべき姿の実現に向けた提言）		
提言1	ひきこもりへの理解促進のための都民や関係者への普及啓発	【区取組み1にリンク】
1-1	地域住民等の理解促進に向けた普及啓発	
1-2	リアル・オンライン双方での普及啓発	
提言2	相談窓口の明確化と当事者・家族に適切に届く効果的な情報発信	【区取組み3にリンク】
2-1	相談窓口の明確化と効果的な情報発信	
2-2	民間事業者の利用に関するトラブル相談への対応	
提言3	身近な地域における相談体制の充実と適切な支援機関の紹介	【区取組み3にリンク】
3-1	身近な地域における相談体制の充実	
3-2	当事者のニーズ把握と適切なアセスメント	
3-3	家族のニーズ把握と適切なアセスメント	
提言4	多様な社会参加の場の充実	【区取組み2にリンク】
4-1	多様な社会参加の場の充実	
提言5	支援者と当事者・家族との信頼関係の構築と継続的支援	【区取組み2にリンク】
5-1	支援者と当事者・家族との信頼関係の構築と継続支援	
提言6	当事者・家族に寄り添う相談員・支援員の支援スキルの向上	【区取組み2にリンク】
6-1	ひきこもりへの理解促進	
6-2	相談員・支援員が悩みを受け止め、伴走する支援スキルの向上	
6-3	地域包括支援センターや民生委員・児童委員への取組み	
提言7	地域における連携ネットワークの構築	【区取組み1にリンク】
7-1	様々な関係機関との連携づくり	

足立区（案）	
ひきこもり支援の基本的な考え方	
考え方1	足立区のひきこもり支援は、ひきこもり本人やその家族の尊厳と自己肯定感の回復を主要な目的として実施します。
考え方2	足立区のひきこもり支援の対象は、全世代のひきこもり本人とその家族とし、積極的に信頼関係を築き、保つことに注力します。
考え方3	足立区は、庁内外の他分野、他職種の関係者に加え、地域の方々との連携を深め、誰一人取り残さないひきこもり支援体制を整えます。

* 基本的な考え方は、文言の違いはあるものの、都≒区である。

ひきこもり支援の具体的な取組み（支援メニューのうち優先順位に応じて着手）	
取組み1	困りごとをまるごと受けとめるネットワークづくり
1-1	地域や関係機関との連携・交流の推進
1-2	連携・支援の拠点を創設
1-3	支援機関や地域向けセミナーの実施
取組み2	誰一人取り残さない相談・支援策の充実
2-1	支援機関の相談・支援スキルの向上
2-2	地域の支援人材の育成（メンター制度等）
2-3	居場所機能の充実
取組み3	普及啓発によるひきこもり支援の浸透・波及
3-1	相談・支援先の明確化、周知
3-2	ひきこもりの理解促進のための情報発信（パンフレット等）
3-3	本人、家族向けセミナーの実施

* 取組みメニューは、都のほうが細分化されているものの、都≒区である。